

平成23年度 アクションプログラムの取組事例

No. 2

取 組 名	低コスト高効率作業システムの推進に向けた現地検討会
流 域 名	十勝
森林管理署等	十勝東部森林管理署
実 施 日	平成23年11月22日
実 施 内 容	平成23年11月22日、足寄町の鳥取国有林の素材生産請負事業箇所（十勝東部森林管理署管内84と林小班）において、低コスト・高効率作業システムの普及拡大及び平成23年度に改正された森林作業道の作設方法の定着に向けた現地検討会を開催しました。 検討会には、十勝総合振興局・足寄町・陸別町の林業担当者、足寄町議会議員、足寄町森林組合、関係協会や請負事業体と十勝東部森林管理署の職員約80名が参加しました。 十勝東部森林管理署管内の素材生産請負事業では、ハーベスタとフォワーダを組み合わせた「低コスト・高効率作業システム」を推進するとともに、耐久性のある森林作業道の作設を行い、今後の保育作業を見据えた路網整備に取り組んでおり、検討会では「低コスト・高効率作業システムの基本的な考え方」、「平成23年度における作業システムの変更点」、「搬出路網に係る現地調査方法と注意点」、「路網整備に係る今後の問題」などについて説明を行い、その後、実際に造られた森林作業道の現状を見ながら説明等を行いました。
反 響 等	今回の検討会により、間伐作業の低コスト化に向けた搬出路網の作設方法等について、普及定着を図るきっかけになることを期待しています。
参 考 資 料	
○森林作業道の作設方法の説明	○ハーベスタ・フォワーダの作業連携の説明
	